

各 位

上場会社名	株式会社 学究社
代表者	取締役兼代表執行役社長 河端真一
(コード番号)	9769)
問合せ先責任者	取締役兼執行役副社長 池田清一
(TEL)	03-5339-1211)

第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年5月20日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月20日に公表いたしました通期業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	450	430	200	34.66
今回修正予想(B)	3,248	319	290	98	17.06
増減額(B-A)	△352	△131	△140	△102	
増減率(%)	△9.8	△29.1	△32.6	△51.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	3,341	404	402	155	26.91

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	770	750	290	50.26
今回修正予想(B)	6,700	660	670	250	43.33
増減額(B-A)	△500	△110	△80	△40	
増減率(%)	△6.9	△14.3	△10.7	△13.8	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	6,679	614	612	170	29.56

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,220	306	320	160	27.73
今回修正予想(B)	2,154	289	293	149	25.87
増減額(B-A)	△66	△17	△27	△11	
増減率(%)	△3.0	△5.6	△8.4	△6.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	2,127	294	351	169	29.44

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,500	520	580	220	38.13
今回修正予想(B)	4,500	520	550	210	36.40
増減額(B-A)	0	0	△30	△10	
増減率(%)	0.0	0.0	△5.2	△4.5	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	4,298	501	563	217	37.61

修正の理由

1. 第2四半期累計期間

(1) 個別

東日本大震災への義援金、タイガーマスク現象への協賛金の寄付等の影響もありましたが、概ね前回予想値の範囲内で推移いたしました。

(2) 連結

国内では厳しい雇用・所得環境による家庭内の教育費抑制の状況が続き、海外では米国経済停滞による日系企業の現地駐在員帰国の流れが収束せず、国内連結子会社の株式会社進学舎、海外連結子会社のGAKKYUSHA U.S.A. CO.,LTD.において生徒数が思うようには伸びず、各々の売上高が目標数値に及びませんでした。この結果、売上高、営業利益、経常利益が予想数値を下回り、加えて、減損損失、固定資産除却損を特別損失として計上したこと(本日開示「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。)により、四半期純利益は更に予想数値を下回りました。

2. 通期

連結及び個別の通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績予想値の修正を踏まえた上で修正いたしません。第3四半期以降は、「ena」と「進学舎」の塾名称を「ena」に統合し、新生「ena」として更に都立県立中、都立県立難関高、国公立大学への進学を希望している生徒・保護者様のニーズにきめ細かく応え、私立中高を目指す受験生にも万全の対応をし、顧客層の拡大に努め、売上高向上を図るとともに費用低減を推進してまいります。

(注)上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上